

# 令和5年中に発生した 長万部町の 交通事故を分析



**ストップ・ザ・交通事故**  
くめさせ 安全で  
安心な北海道

昨年6月、八雲町野田生で発生した対向車線にはみ出したトラックと都市間高速バスの衝突事故。この事故で双方の運転手2名、バスの乗客3名、計5名が死亡、12名の方が重軽傷を負いました。過去にも死亡事故が発生している区域であり、現在はランブルストリップスを設置するなど対策されています。

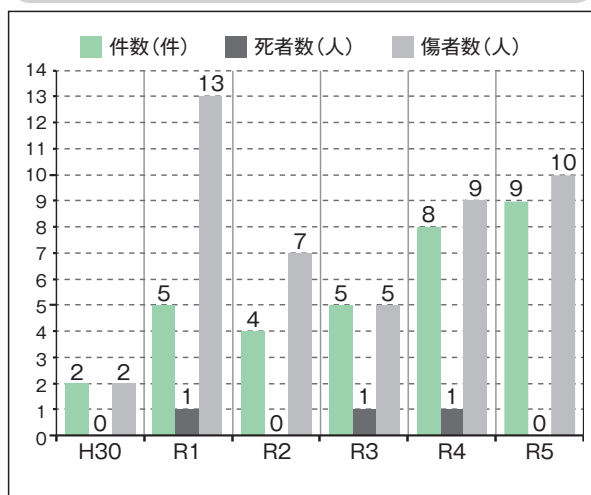
交通事故の多くは運転手のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいきます。被害者になっても加害者になっても一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。

全国の交通事故死者数は、昨年より68人増え2,678人と8年ぶりに増加となりました。道内では多くの方が交通事故の犠牲となっており、特に飲酒運転による事故が後を絶ちません。また、高齢者の事故も多く見受けられます。

悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、飲酒運転は厳禁、スピードは控えめに、車間距離を十分に、前方を確認し、ブレーキは早めに、衝突を回避するよう努めましょう。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

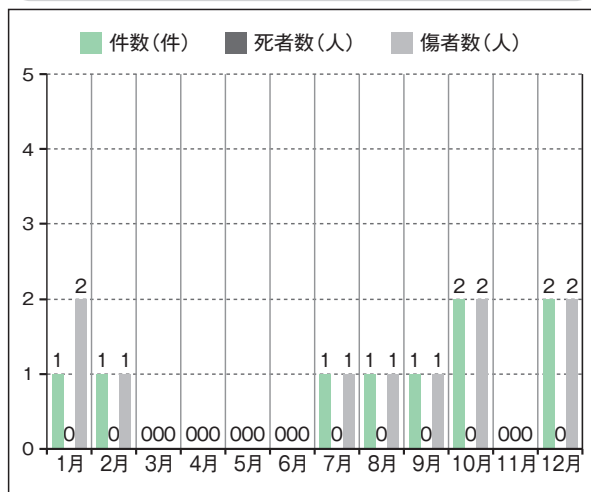
年別町内発生交通事故の推移



**死亡事故ゼロも  
事故件数増加**

長万部町内で昨年発生した交通事故は昨年よりも1件増加し9件、傷者数は10人、死者数は0人で死亡者数ゼロ日数は567日継続しました。北海道全体における交通事故死者数は、前年と比べて16人増え131人となり、道内の特徴として、全国に比べ死亡事故件数の正面衝突事故や、路外逸脱事故の割合が高くなっています。これらは、道内の道路の大部分が中央分離帯を持たない2車線道路が占めるなどが原因と推測されています。

月別町内発生交通事故の推移



**交通事故の多くは  
国道5号線で**

道路別の発生状況では国道で6件、その他道路で3件発生しています。

比較的通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎや無理な追い越し運転の原因になっていると考えられます。

また、一般的に事故を起こしやすい場所としては、市街地の信号機のない交差点、直線道路と比べて見通しが悪く、出会い頭の衝突や右折車と直進車の衝突事故などが発生しやすいため、このような場所を運転する際には、一時停止や徐行を心がけ十分注意しましょう。

**安全運転義務違反が  
事故の原因に**

事故類型別の発生状況では人対車両が1件、車両相互が8件発生しています。

法令違反別の発生状況では後方不注意等が事故の原因となり、7件が安全運転義務違反により発生しています。

ちょっとした気の緩み、わき見運転が大きな事故に繋がります。あなたと相手の一生を台無しにしてしまいません。

便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまいます。車を運転するときは、心に余裕をもって速度を抑え、十分な車間距離をとり、適度な緊張感をもって運転しましょう。

飲酒運転は、平穏な日常を一瞬で悲劇に変えてしまいます。

交通ルールを守らないと、事故に遭うだけでなく、事故を引き起こす可能性が高くなります。

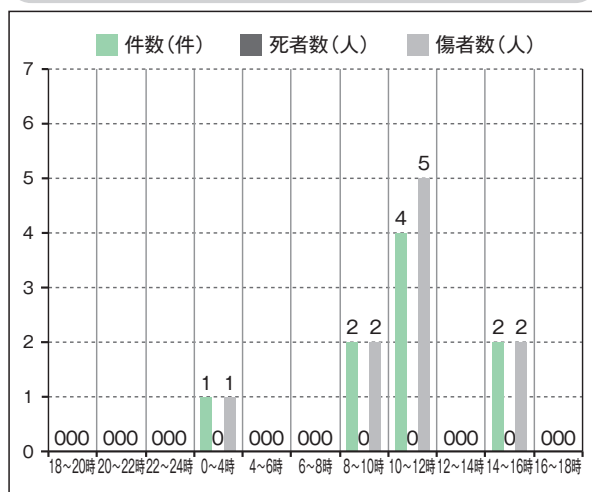
自分だけは大丈夫と思わず、交通ルールとマナーを守って事故のない社会をつくりましょう。



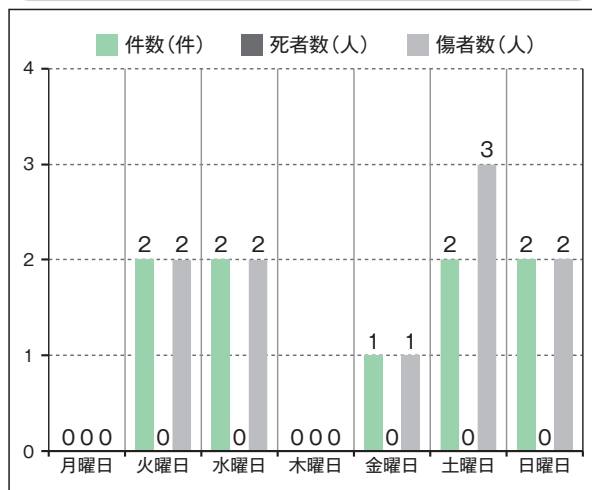
[ ] 事故件数・傷者数

| 道 路 別                                                                    | 事 故 類 型 別                                                                          | 法 令 違 反 別                                                                         | 通 行 目 的 別                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>■ 国道</b><br>・ 5号線 [5件・6人]<br>・ 37号線 [1件・1人]<br><b>■ その他道路</b> [3件・3人] | <b>■ 人対車両</b> [1件・1人]<br><b>■ 車両相互</b><br>・ 正面衝突等 [8件・9人]<br><b>■ 車両単独</b> [0件・0人] | <b>■ 安全運転義務違反</b><br>・ 前後方不注意 [4件・4人]<br>・ 運転操作ミス [3件・4人]<br><b>■ その他</b> [2件・2人] | <b>■ 訪 問</b> [1件・1人]<br><b>■ 帰 省</b> [2件・3人]<br><b>■ 業 務</b> [5件・5人]<br><b>■ その他</b> [1件・1人] |

#### 時間別事故発生状況



#### 曜日別事故発生状況



ゆとりを持った安全運転で

疲れたときにはこまめな休憩を

高齢者の事故が増えています

時間別の発生状況では、9件中8件の事故が日中に発生しております。曜日別では週末にかけての事故が多く、通行目的別では業務や帰省などで事故が発生しております。

目的は様々ですが、時間に余裕がないとスピードの出し過ぎや前方不注意などが多くなり、その結果、交通事故を起こす可能性が高くなります。運転する際には、体調を万全にし、時間的、精神的に余裕を持つことが大切です。

長時間の運転は、疲れが蓄積されやすく、その結果漫然運転や最悪の場合は居眠り運転につながります。

車の運転は、前方の標識から手元の機器類まで絶えず目を動かすため、ピントを合わせる眼の筋肉が疲れてきます。この疲れが蓄積し、全身の疲れに繋がります。

これを防ぐために1〜2時間おきにこまめな休憩を取り、運転席から降りて外の空気を吸いながら、軽めの体操などを行いましょう。

全国的に高齢化が進み、高齢者が巻き込まれる事故が増えていきます。高齢ドライバーへの思いやりを持った運転や高齢歩行者を見かけたら減速するなど、高齢者の動きに対応できるように運転を心がけましょう。

また、高齢者の交通事故は夕方から夜にかけて多く発生する傾向がありますので、十分注意しましょう。

運転に自信が無くなったり家族から「運転が心配」と言われるようになった場合は、運転免許証の自主返納を考えましょう。